



# 知ってるつもり (108)

学芸員 奥住 淳

## ◆戦時下の学校——国民学校の一年間——

### 小学校から国民学校へ

昭和6年（1931）の満州事変、同12年の日中戦争と戦時体制が強まるなか、同16年3月1日に小学校令が改正され国民学校令が公布されました。これにより同年4月1日、全国の尋常高等小学校が国民学校へと改称され、芝山町域でも二川・千代田・菱田・岩山の各小学校が国民学校として開校しました。

国民学校は初等科6か年、高等科2か年で、教科は国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・体育・図画・工作）、実業科（高等科のみ）（体操・武道）、芸能科（音楽・習字）で構成され、教育の目的は、皇国民の練成と位置づけられ団体訓練や勤労奉仕が重んじられました。

### 国民学校の行事と生活

それでは、二川国民学校の昭和17年度学校日誌から一年間の行事や生

活の様子を見てみましょう。4月1日に始業式・入学式が行われ、9日は宮門神社にて出征兵士の見送りが

ありました。日誌には、随所に兵士の見送りや空襲警報発令の記載があり、戦争の影響が色濃く伺えます。

4月11日には徒歩による行軍があり、行き先は一二年が芝山、三四年が二区方面、五年以上が十倉（飛行場）でした。5月13日は徴兵検査で教室を貸与しています。6月は1日～6

日が養蚕休業、22日～23日が挿秧休業（田植え）で、7月にかけて国語や算数の研究授業が行われました。

7月25日に一斉考査があり、31日は終業式でした。8月は夏休みですが、団体訓練や除草作業などで登校することもあり、校庭は兵隊の訓練でも使用されていました。

9月1日は始業式で、4日に男児の服、5日にツック靴の配給がありました。9月19日には体育会が開催予定でしたが中止となりました。10

月は1日と6日に全校団体訓練が行

われました。11月は校長が軍人援護教育講習、教員が国民文化講習など研修による出張がありました。12月は、8日に二川村主催の大東亜戦争一周年記念式があり、31日は終業式でした。

昭和18年1月は、1日に新年祝賀式で、8日が始業式でした。3月は、9日・10日に中学校・農学校・女学校の受験があり、3月16日・17日に学芸会、24日に卒業式が行われました。

### 国民学校から新制小学校へ

昭和20年に入ると戦況の悪化とともに、3月に国民学校の児童は、初等科を除いて学校の授業を原則停止とし、4月には初等科高学年の児童も勤労作業に出ることになりました。千代田国民学校では、同年4月から

8月15日までの間に、勤労作業は初等科で52回、高等科では85回にも及びました。作業では、防空壕建設の手伝いもありました。

8月15日の終戦により、政府は戦時下の教育体制を停止し、9月には授業を再開して、教科書は戦時色のある文章を黒塗りして使用しました。その後、昭和22年4月1日に小学校6年・中学校3年を義務教育とする六・三制が実施され、町域の各国民学校も村立の新制小学校として開校しました。

学校日誌（表紙）



二川国民学校昭和17年度学校日誌





補助員 鈴木 貴行



指揮者  
小川 佳久

## 第36回山武消防ポンプ操法大会

消防訓練における基本的な器具操作・動作の習得を目指す消防操法。その正確さと迅速さを競う「第36回山武消防ポンプ操法大会」が6月29日、蓮沼海浜公園駐車場を舞台に行われました。

町からは、小型ポンプ操法の部に第4分団第10部が出場。町代表としての誇りを胸に、鍛え抜かれた訓練の成果を披露しました。

# 地域を守る 火消しの絆



芝山町消防団第4分団第10部

2番員 渡邊 彰



1番員  
岩内 猛



3番員 鈴木 敏弘

